

麦 笛

(第 47 号 令和 4 年 8・9 月号)



今回は日本音楽療法学会認定音楽療法士である、近藤先生をご紹介します。

今年は毎月1回、ひまわり組以上のクラスで、音楽療法をして下さっています。音楽療法の近藤靖子先生との出会いは、同じ法人の障害者施設「麦の家」に来て頂くことになったのがきっかけで20年近く前に遡ります。当時、重度の障害があるご利用者の方々に、何か日中楽しい過ごし方ができないかと考えていたときに、先生に出会うことができました。主に、発達障害のあるお子様の療育に携わられています。まだ、保護者の方々にはお見せしたことがないかもしれませんが、こむぎ保育園には、赤い羽根共同募金の寄附で買わせて頂いた、珍しい楽器がたくさんあり、それも先生のおかげです。先生から一言頂きました。

(↓楽器の一部)



① 音楽を楽しむこと②お友達や先生と音楽でコミュニケーションをとること③音楽で自己表現をすること(楽器歌 運動等)を目的に、担任の先生と相談しながら、行っています。コロナ禍でも、距離をとり、マスクをしていても、音楽はできます。お子様達はとても楽しそうに、前向きに取り組んでいます。これからも楽しく実施していきたいと思います。



季節のテーブル係(担当:平井、平野、山田、柴田)

コロナウイルスの影響で中止になっていた七夕が**3年ぶり**に復活しました!!各クラスの保育室やエントランスの大きな笹に、カラフルな短冊や七夕飾りが飾られました。七夕飾りは、けやき組とさくら組のお友達が一生懸命作ってくれた飾りです。

乳児クラスの子どもたちは笹や七夕飾りにそーっと触れてみたり、引っ張ってみたり興味津々。幼児クラスの子ども達は、短冊や自分で作った飾りを、きらきらとした目で飾っている姿がみられ、保育士も嬉しくなりました。

子ども達の可愛い願い事や保護者の方の願い事が叶いますように…☆
そして来年も楽しい七夕の日を迎えることが出来ますように…

